

# 平成30年度 第2回 久留米市地域公共交通会議 議事

会議後一部修正

## 《議 案》

- 議案第5号 広川町予約型乗合タクシー（ふれあいタクシー）の「ゆのそ献上の湯」への乗り入れについて ----- P 1
- 議案第6号 北野地域よりみちバスの事業計画変更（案）について ----- P 3
- 議案第7号 城島地域よりみちバスの事業計画変更（案）について ----- P 11

## 《報 告》

- 報告第3号 「よりみちバス」の利用状況等について ----- P 19
- 報告第4号 平成30年度事業（主要バス停の環境改善、公共交通マップの更新）の取り組み状況について ----- P 28
- 報告第5号 地域交通対策補助（コミュニティタクシー）について ----- P 32

議案第5号

広川町予約型乗合タクシー（ふれあいタクシー）の  
「ゆのそ献上の湯」への乗り入れについて

広川町予約型乗合タクシー（ふれあいタクシー）の「ゆのそ献上の湯」への乗り入れについて、別紙のとおり承認を求める。

平成30年12月14日提出

# 広川町予約型乗合タクシー（ふれあいタクシー）の 「ゆのそ献上の湯」への乗り入れについて

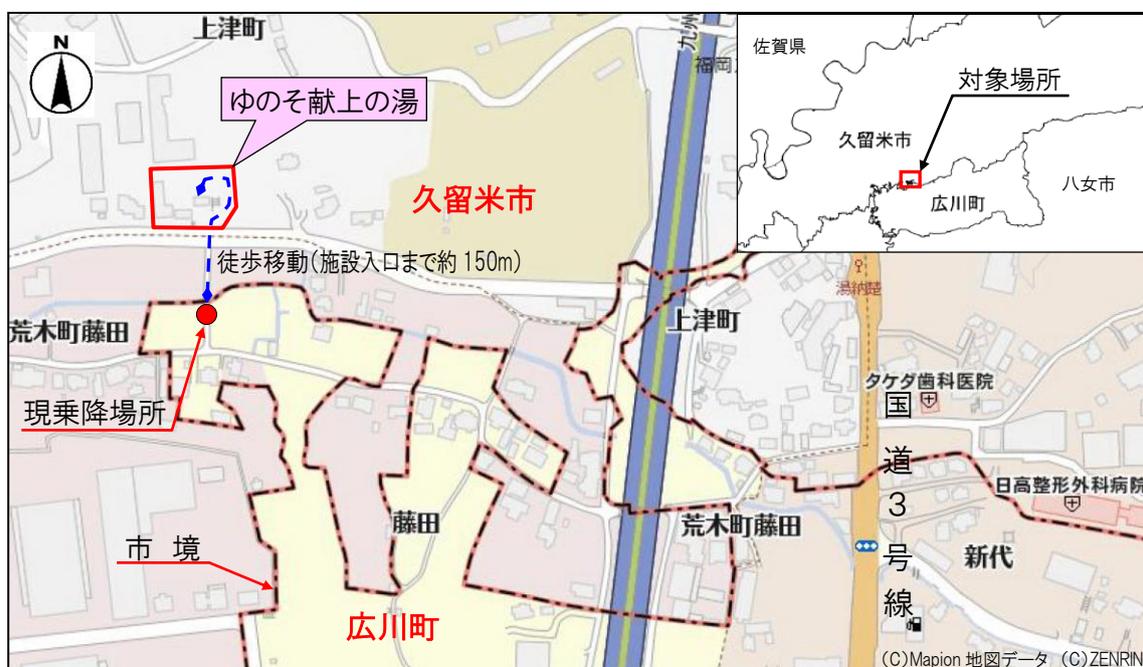
## 1. 協議事項

広川町が広川町内において運行している「ふれあいタクシー」が、久留米市上津町の「ゆのそ献上の湯」まで運行範囲を拡張すること

## 2. 経緯

広川町ふれあいタクシーは、平成25年10月1日より運行を開始したデマンド乗合タクシーであり、基本的な運行範囲は広川町内となる。今回、運行範囲の拡張を望んでいる「ゆのそ献上の湯」は、広川町との市境に近い久留米市上津町に位置し、広川町民が一般的に利用している施設となっている。

現在、ふれあいタクシーで「ゆのそ献上の湯」へ行く場合、広川町境で降車し徒歩で移動しているが、降車地点から施設入口までには比高10m程度の急坂を上る必要があり、利用者からは施設への乗り入れを求める要望があがっていたことから、広川町から久留米市へ運行範囲の拡張について了承を求めたもの。



### 【備考】

- 平成26年度に久留米市内の病院(日高整形外科病院)への乗り入れを承認済
- 久留米市への乗り入れは、「日高整形外科病院」、「ゆのそ献上の湯」のみ。

議案第6号

## 北野地域よりみちバスの事業計画変更（案）について

北野地域よりみちバス（コスモス号）の事業計画変更（案）について、別紙のとおり承認を求める。

平成30年12月14日提出

## 北野地域よりみちバス（コスモス号） 事業計画変更（案）

### ■事業計画の変更概要

（方針）利用者は増加傾向であり、現在の運行ルート、ダイヤを基本とし、遅延への対応や回送区間の営業化など小幅な変更を行う。

項目	変更概要
運行車両 運行方式	○変更無し
運行日	○変更無し
バス停	1)新設 ○つむら眼科医院[通常バス停]:久留米市善導寺町飯田字大林 905-7 ○秋山鮮魚店[通常バス停]:久留米市北野町今山 356-1  2)廃止 ○千代島第一[要予約バス停]  3)名称変更 ○高良北(ザ・ビッグエクスプレス北野店) ⇒ ザ・ビッグ北野店 ○高良北(コメリハード&グリーン北野店) ⇒ コメリ北野店 ○高良南(ディスカウントドラッグコスモス北野店) ⇒ ドラッグコスモス北野店 ○高良南(ドラッグストアモリ北野店) ⇒ ドラッグストアモリ北野店
運行ルート 運行ダイヤ	①大城1便・2便の始発地の変更(回送区間の営業化) ②大城便快速系統を一部各停に変更(温泉施設への停車) ③大城4便・5便の起終点変更(プラザ善導寺への増便) ④金島1便・12便の起終点変更(北野校区から神代病院へ向かう系統確保) ⑤金島便快速系統を一部各停に変更(集落側本数増便) ⑥要望に基づく運行ルートの一部変更(安全性、利便性向上) ⑦所要時分の見直し(運行の遅れの軽減)
その他	○地域イベントに合わせた臨時運行の実施 (運休日(日祝日)の車両を活用した「よりみちバス」の周知)

## 1. 運行の目的

既存公共交通を補完・連携し、自動車を自由に運転することができない高齢者などの移動制約者に対する買物や通院などの日々の移動手段を確保する。

## 2. 事業主体

久留米市

## 3. 運行主体

(委託先) 福岡県筑後地区タクシー協会

[運行事業者] ・有限会社 北野猪口タクシー

・安全タクシー 有限会社

※委託先、運行事業者は平成30年12月時点の事業者を記載

## 4. 運行車両

10人乗り車両 2両

5人乗り車両 4両 (予備車両: 追走、不定期運行に使用)

○一般乗用旅客事業者運送事業に供する車両と併用

○使用する車両の最大寸法 (10人乗り)

全長 5,380mm×全幅 1,880mm×全高 2,285mm

## 5. 運行方式

路線定期運行 (一部迂回路線、臨時 (路線不定期) 運行併設)

## 6. 運行日と運休日

### 1) 運行日 (変更有: 赤色部)

月曜～土曜 (運行系統を2つに分け隔日運行で運行)

日程	運行曜日	主な運行校区	便名と運行本数
A 日程	月・水・金	大城校区	大城便: 8→8便 (往復 7→4, 循環 1→4)
		金島校区	金島便: 12便 (往復 12, 循環 0)
B 日程	火・木・土	北野校区	北野便: 6便 (循環 6)
		弓削校区	弓削便: 12便 (往復 12, 循環 0)

※表中の「往復」は往路又は復路の片側で1便と計数

※現行本数→変更後本数で記載

### 2) 運休日

日曜、祝日

お盆 (8月13日～15日) 及び年末年始 (12月31日～1月3日)

## 7. 運行範囲、バス停 【資料2 参照】

### 1) 運行範囲

- ・北野地域全域（旧北野町）
- ・善導寺校区の一部（プラザ善導寺、ぜんどうじ整形外科、つむら眼科医院）
- ・宮ノ陣校区の一部（古賀茶屋駅）
- ・大刀洗町の一部（大堰駅、Aコープ大刀洗店）

### 2) バス停（変更有：赤色部）

#### 校区別バス停数

校 区	弓削校区	北野校区	大城校区	金島校区	その他
通常バス停	12	20→21	26	13	5→6
要予約バス停	1	5→4	2	4	0
臨時バス停	0→1	0→1	0	0	0
校区合計	13→14	25→26	28	17	5→6
総 数	88→91(通常76→78 要予約12→11 臨時0→2)				

※通常バス停:通常の運行(路線定期運行)で停車するバス停

※要予約バス停:利用するためには予約が必要となるバス停(予約があった場合にのみ定路線から迂回運行して停車する)

※現行停留所数→変更後本数で記載

#### 新設バス停

バス停名(状況)	現地写真	
秋山鮮魚店 (通常バス停:バス停は施設敷地内に設置。車両は道路上に停車)		
つむら眼科医院 (通常バス停:バス停は施設敷地内に設置。車両は道路上に停車)		

#### バス停名称変更

- 高良北（ザ・ビッグエクスプレス北野店） ⇒ ザ・ビッグ北野店
- 高良北（コメリハード&グリーン北野店） ⇒ コメリ北野店
- 高良南（ディスカウントドラッグコスモス北野店） ⇒ ドラッグコスモス北野店
- 高良南（ドラッグストアモリ北野店） ⇒ ドラッグストアモリ北野店

#### 廃止バス停・・・年間の利用回数「0回」

- 千代島第一〔要予約バス停〕



② 北野地域1日バス乗車券 300円

- 1日乗車券は路線バス（北野線）、よりみちバスで利用可能
- 路線バスは北野地域内の乗降のみ利用可（両筑苑～石崎間の乗降）
- 1日バス乗車券は「よりみちバス車内」「(有)北野猪口タクシー本社」で購入可能（※西鉄バス北野線車内では販売していません）



③ 1ヶ月定期券 1,000円

- 1ヶ月定期券は「よりみちバス」のみで利用可能（路線バス（北野線）は利用不可。平成30年8月1日から開始）
- 1ヶ月定期券は「よりみちバス車内」のみで購入可能



2) 同乗介助者等の運賃無料

- 障害者や校区まちづくり振興会等の実施イベント（サロン事業等）に参加する高齢者を介助・付添する人の「よりみちバス（コスモス号）」運賃を無料（運賃は久留米市負担）にするもの（平成29年6月15日から開始）

3) その他利用券の発行

- よりみちバスの運賃支払いに利用できる100円券を発行

4) 無料お試し乗車の実施（予定）

- 事業計画変更日（運行ルート、ダイヤの改正日）から1ヶ月間（月単位）、よりみちバスが無料で乗車できる期間を設定
- 対象は高齢者、障害者の方、運転免許証自主返納者に限定
- 無料お試し乗車期間中は、乗車時に乗務員より1日バス乗車券（よりみちバス限定券）を無料で配付（1日バス乗車券（よりみちバス限定券）は、通常の1日バス乗車券と同じく1日何度でも利用可能）
- 1ヶ月定期券所持者で無料お試し乗車の対象者については、定期券の有効期間の延長処理を実施

備考) 無料お試し乗車について

- 新たな運行ルート、ダイヤに慣れてもらうこと、これまで利用をためらっていた方に、まずは乗ってもらうことを目的として実施
- 利用者の運賃は、久留米市が負担

## 10. 利用方法

### 1) 「通常バス停」の乗降方法

<b>乗車時</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運行ダイヤを確認し、通過時刻前にバス停前で待つ。</li> <li>○バスが来て扉が開いたら乗車。</li> <li>○乗務員に運賃を支払い、『行き先(降車バス停)』を告げて着席。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;"><b>運賃先払い</b></div> <p style="text-align: center;">【よりみちバス車内で「1日バス乗車券は購入可能」】</p>
<b>降車時</b>	○降車バス停に車両が完全に停止してから席を立ち降りる。

### 2) 「要予約バス停」の乗降方法

<b>乗車時</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①乗車時刻が10:00よりも早い便へ乗車する場合</li> <li>②乗車時刻が10:00よりも遅い便へ乗車する場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前日17:00までに「北野猪口タクシー」に電話 <ul style="list-style-type: none"> <li>※利用日、利用する便名、利用するバス停を伝える</li> <li>※受付時間は9:00～17:00</li> </ul> </li> <li>○バス停からの乗車方法は通常バス停と同じ。</li> <li>○利用時刻1時間前までに「北野猪口タクシー」に電話 <ul style="list-style-type: none"> <li>※利用日、利用する便名、利用するバス停を伝える</li> </ul> </li> <li>○バス停からの乗車方法は通常バス停と同じ。</li> </ul>
<b>降車時</b>	○通常バス停の乗降方法と同じ ※乗車時に要予約バス停に降りることを伝える。	

### 3) フリー乗降区間からの乗車方法

○バスが来たら手を上げる等の合図により乗務員に知らせる。

【バスから見える安全な位置でしっかりと合図】

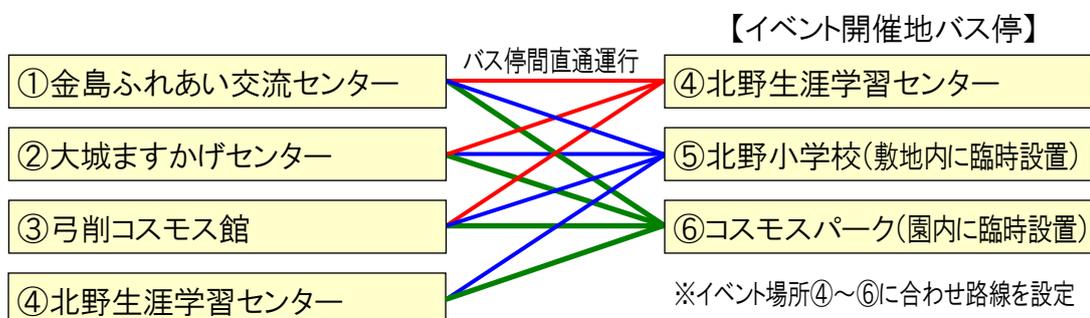
○交差点や見通しの悪い曲がり角等、安全な乗車が確保できない場所では停車しない。

### 4) 乗車定員に達し乗り切れなかった場合の対応

○よりみちバス車両の乗客定員は9名であるため、定員に達して乗り切れない場合は、5人乗り車両（セダン型タクシー）を使い追走便を運行する。

## 11. 臨時運行（新規） 【資料2 参照】

- 新規利用者の獲得を目的とし、運休時（日・祝日）の車両を活用して、地域イベントの開催に合わせた臨時運行（最大年3日）を実施
- 臨時運行バス停及び路線



- 路線不定期運行として申請し、イベント開催日時に合わせて運行日、運行ダイヤを設定（イベント開催前に利用者へは広報誌等で周知を実施し、国に運行の実施を届出）
- 使用する車両・バス停、運賃は通常運行に同じ。

### 臨時設置バス停

バス停名(状況)	現地写真	
<u>北野小学校</u> (臨時運行時の臨時バス停: バス停は施設敷地内に設置。車両も敷地内に停車)		
<u>コスモスパーク</u> (臨時運行時の臨時バス停: バス停は施設敷地内に設置。車両も敷地内に停車)		

議案第7号

## 城島地域よりみちバスの事業計画変更（案）について

城島地域よりみちバス（インガット号）の事業計画変更（案）について、別紙のとおり承認を求める。

平成30年12月14日提出



## 1. 運行の目的

城島地域において、既存公共交通を補完・連携し、自動車を自由に運転することができない高齢者等の移動制約者に対する買物や通院などの日々の移動手段を確保する。

## 2. 事業主体

久留米市

## 3. 運行主体

(委託先) 福岡県筑後地区タクシー協会

[運行事業者] ・有限会社 丸金タクシー

・有限会社 くまタクシー

※委託先、運行事業者は平成30年12月時点の事業者を記載

## 4. 運行方式

路線定期運行（一部迂回路線、路線不定期運行、臨時（路線不定期）運行併設）

## 5. 運行車両

10人乗り車両 2両

5人乗り車両（予備車両：追走、不定期運行に使用）

○一般乗用旅客事業者運送事業に供する車両と併用

○使用する車両の最大寸法（10人乗り）

全長 5,380mm×全幅 1,880mm×全高 2,285mm

## 6. 運行日と運行期間

### 1) 運行日（変更有：赤色部）

月曜～土曜（運行区域を2つに分け隔日運行〔A日程、B日程〕で運行）

日程	運行曜日	主な運行校区	便名と運行本数
A 日程	月曜・水曜・土曜	下田校区	A便:18→16(往復 18→16)
		江上校区	
		城島校区	
B 日程	火曜・木曜・金曜	浮島校区	B便:19→18(往復 19→18)
		青木校区	
		城島校区	

※表中の「往復」は往路又は復路の片側で1便と計数

## 2) 運休日

日曜、祝日

お盆（8月13日～15日）及び年末年始（12月29日～1月3日）

## 7. 運行範囲、バス停 【資料2 参照】

### 1) 運行範囲

- ・城島地域全域（旧城島町）
- ・犬塚校区の一部（安本病院、犬塚駅、ゆうゆう）
- ・みやき町の一部（江見（郵便局前）、アスタラビスタ三根店）
- ・[通過のみ]大川市の一部、大木町の一部、神崎市の一部

### 2) バス停（変更有：赤色部）

#### 校区別バス停数

校 区	城島校区	下田校区	江上校区	青木校区	浮島校区	犬塚校区
通常バス停	22→24	8	14	18	5	7
要予約バス停	8→5	2	4→2	2→0	0	0
校区合計	30→29	10	18→16	20→18	5	7
総 数	90→85(通常74→76 要予約16→9)					

※通常バス停:通常の運行(路線定期運行)で停車するバス停

※要予約バス停:利用するためには予約が必要となるバス停(予約があった場合にのみ定路線から迂回運行して停車する)

※現行停留所数→変更後本数で記載

#### バス停名称変更

- 江 見 ⇒ 江 見（郵便局前）
- コーポラス前 ⇒ 浮島小学校

#### 廃止バス停・・・年間の利用回数「0回」

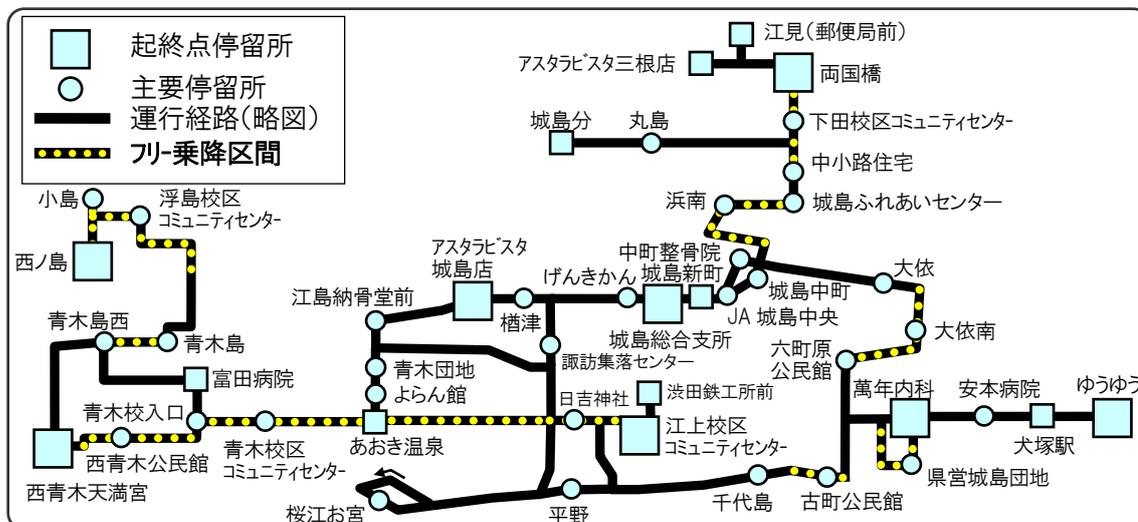
- 上西〔要予約バス停〕
- 南上〔要予約バス停〕
- 田中製麺〔要予約バス停〕
- 坂本神社西〔要予約バス停〕
- 四郎丸東〔要予約バス停〕

#### 要予約バス停の通常バス停化

- 六町原公民館
- 市川技研工業前

### 3) 運行経路 (変更有: 変更部は資料2参照)

概略運行経路 (臨時運行除く)



#### 【参考】

フリー乗降区間に設定する区間の状況

- 集落内、若しくは集落周辺の生活道路
- 交通量は少なく、集落居住者の交通が主体
- 道路は1車線(一部2車線)で、乗車の際は原則進行方向の左側路側帯で待つ。道路幅員が狭く路側帯も無い区間では、利用者は道路端で待つ(「よりみちバス」車両の停車により他車両は停車、若しくは徐行して通行する)。

### 8. 運行ダイヤ (変更有: 変更部は資料2参照)

別紙資料に記載

### 9. 運賃等

#### 1) 運賃

① 1回利用 200円

《ただし、次の方は100円で利用可能》

- ◆小学生及び未就学児(未就学児は保護者同伴で無料)
- ◆障害者の方(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳提示)
- ◆運転経歴証明書提示者(運転免許自主返納者)
- ◆路線バス定期券提示者(城島地域内及び下林・江見バス停、犬塚駅が起終点のもの)
- ◆西鉄バスグランドパス65提示者 ※定期券類は有効期限内のものに限る

② 城島地域1日バス乗車券 300円

- 1日乗車券はよりみちバス、路線バス（大善寺線）で利用可能
- 路線バスは城島地域内及び下林間の乗降のみ利用可  
（上城島～下林間の乗降）
- 1日バス乗車券は「よりみちバス車内」「（有）丸金タクシー本社」で購入可能（※西鉄バス大善寺線車内では販売していません）



③ 1ヶ月定期券 1,000円

- 1ヶ月定期券は「よりみちバス」のみで利用可能（路線バス（大善寺線）は利用不可。平成30年8月1日から開始）
- 1ヶ月定期券は「よりみちバス車内」のみで購入可能



2) 同乗介助者等の運賃無料

- 障害者や校区まちづくり振興会等の実施イベント（サロン事業等）に参加する高齢者を介助・付添する人の「よりみちバス（コスモス号）」運賃を無料（運賃は久留米市負担）にするもの（平成29年6月15日から開始）

3) その他利用券の発行

- よりみちバスの運賃支払いに利用できる100円券を発行

4) 無料お試し乗車の実施（予定）

- 事業計画変更日（運行ルート、ダイヤの改正日）から1ヶ月間（月単位）、よりみちバスが無料で乗車できる期間を設定
- 対象は高齢者、障害者の方、運転免許証自主返納者に限定
- 無料お試し乗車期間中は、乗車時に乗務員より1日バス乗車券（よりみちバス限定券）を無料で配付（1日バス乗車券（よりみちバス限定券）は、通常の1日バス乗車券と同じく1日何度でも利用可能）
- 1ヶ月定期券所持者で無料お試し乗車の対象者については、定期券の有効期間の延長処理を実施

備考) 無料お試し乗車について

- 新たな運行ルート、ダイヤに慣れてもらうこと、これまで利用をためらっていた方に、まずは乗ってもらうことを目的として実施
- 利用者の運賃は、久留米市が負担

## 10. 利用方法

### 1) 「通常バス停」の乗降方法

<b>乗車時</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運行ダイヤを確認し、通過時刻前にバス停前で待つ。</li> <li>○バスが来て扉が開いたら乗車。</li> <li>○乗務員に運賃を支払い、『行き先(降車バス停)』を告げて着席。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;"><b>運賃先払い</b></div> <p style="text-align: center;">【よりみちバス車内で「1日バス乗車券は購入可能」】</p>
<b>降車時</b>	○降車バス停に車両が完全に停止してから席を立ち降りる。

### 2) 「要予約バス停」の乗降方法

<b>乗車時</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①乗車時刻が10:00よりも早い便へ乗車する場合</li> <li>②乗車時刻が10:00よりも遅い便へ乗車する場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前日17:00までに「丸金タクシー」に電話 ※利用日、利用する便名、利用するバス停を伝える ※受付時間は9:00～17:00</li> <li>○バス停からの乗車方法は通常バス停と同じ。</li> <li>○利用時刻1時間前までに「丸金」に電話 ※利用日、利用する便名、利用するバス停を伝える</li> <li>○バス停からの乗車方法は通常バス停と同じ。</li> </ul>
<b>降車時</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通常バス停の乗降方法と同じ</li> <li>※乗車時に要予約バス停に降りることを伝える。</li> </ul>	

#### 丸島・城島分・渋田鉄工所前 からの利用について

- 丸島・城島分・渋田鉄工所前から予約があった場合、5人乗り車両にて迎車し、下田校区または江上校区のコミュニティセンターまで輸送する。その後、A日程の車両に乗り換えて目的地まで移動。予約は利用の前日17時まで。
- 丸島・城島分・渋田鉄工所前に帰る場合、A日程の運行に合わせて、下田校区または江上校区のコミュニティセンターから5人乗り車両で輸送する。

### 3) フリー乗降区間からの乗車方法

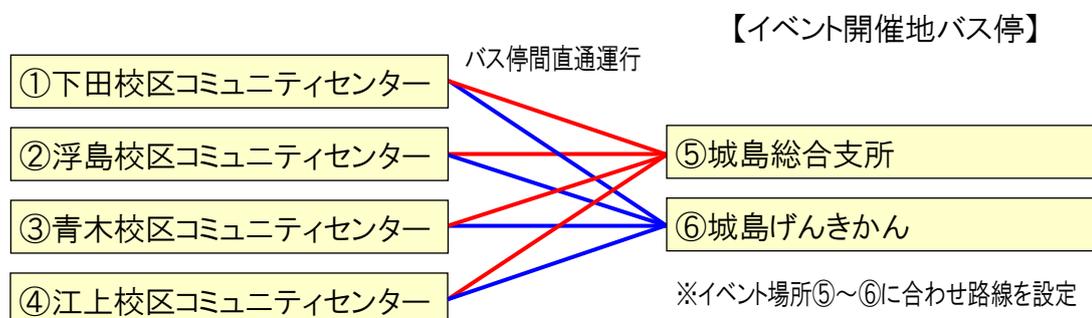
- バスが来たら手を上げる等の合図により乗務員に知らせる。  
【バスから見える安全な位置でしっかりと合図】
- 交差点や見通しの悪い曲がり角等、安全な乗車が確保できない場所では停車しない。

### 4) 乗車定員に達し乗り切れなかった場合の対応

- よりみちバス車両の乗客定員は9名であるため、乗車定員に達して乗り切れない場合は、5人乗り車両（セダン型タクシー）を使い追走便を運行する。

## 11. 臨時運行（新規） 【資料2 参照】

- 新規利用者の獲得を目的とし、運休時（日・祝日）の車両を活用して、地域イベントの開催に合わせた臨時運行（最大年3日）を実施
- 臨時運行バス停及び路線



- 路線不定期運行として申請し、イベント開催日時に合わせて運行日、運行ダイヤを設定（イベント開催前に利用者へは広報誌等で周知を実施し、国に運行の実施を届出）
- 使用する車両・バス停、運賃は通常運行に同じ。

報告第3号

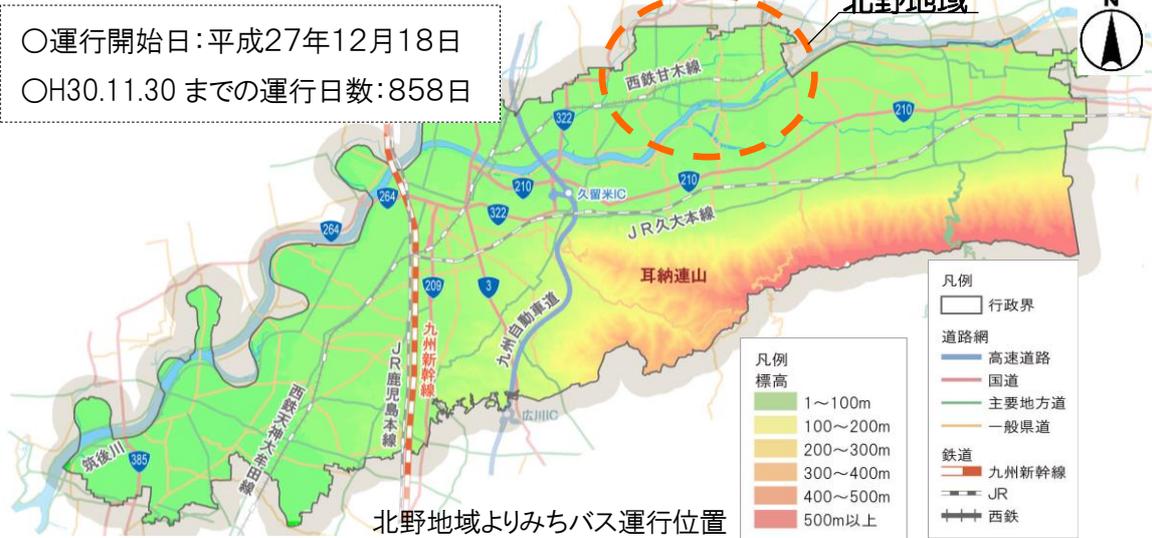
## 「よりみちバス」の利用状況等について

生活支援交通「よりみちバス」の利用状況等について、別紙のとおり報告する。

平成30年12月14日提出

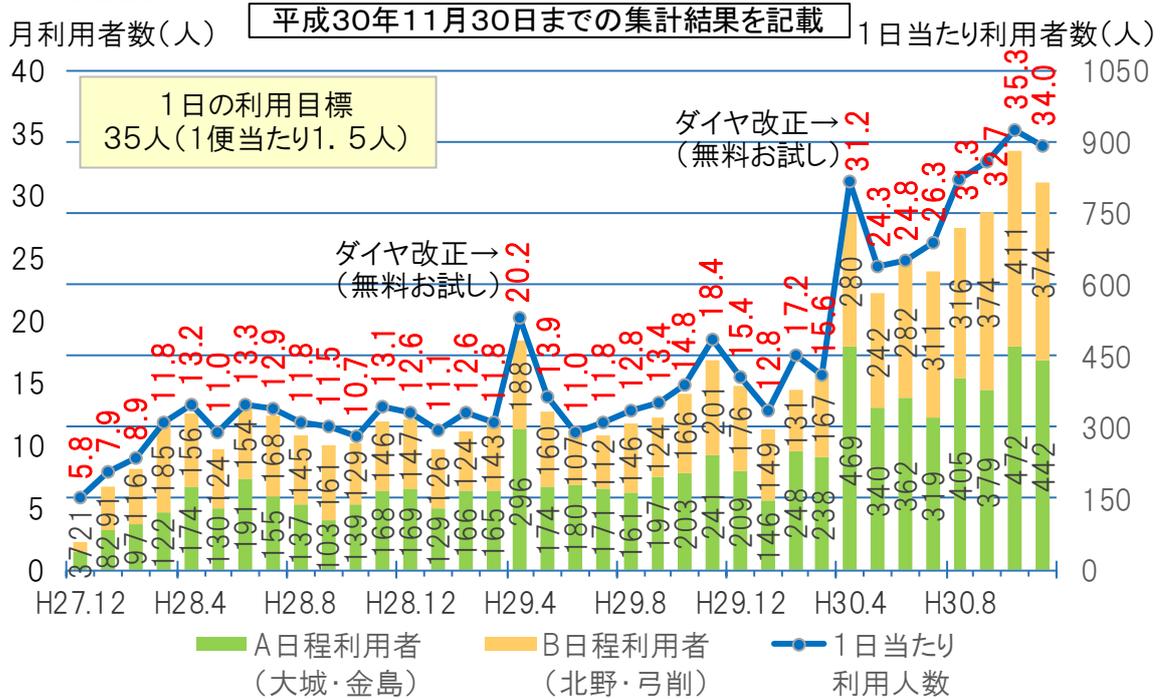
# 生活支援交通「よりみちバス」の利用状況等について

## 1. 北野地域よりみちバス（コスモス号）の利用状況等



### ■利用状況

#### 1) 利用者数



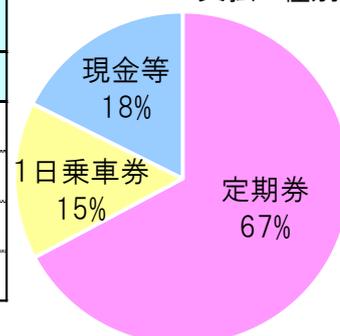
#### 年度別利用状況(運行開始～H30.11.30)

年度	A日程利用者 (大城・金島)	B日程利用者 (北野・弓削)	合計 利用者数	運行 日数	1日あたり 利用者数
H27	338人	413人	751人	82日	9.2人
H28	1,826人	1,723人	3,549人	292日	12.2人
H29	2,464人	1,827人	4,291人	291日	14.7人
H30	3,188人	2,590人	5,778人	193日	29.9人
計	7,816人	6,553人	14,369人	858日	16.7人

## 2) 支払い種別

	平成30年度			平成29年度	
	定期券	1日乗車券	現金等	1日乗車券	現金等
8月	63%	15%	22%	69%	31%
9月	66%	15%	19%	66%	34%
10月	71%	15%	14%	73%	27%
11月	68%	16%	16%	71%	29%

H30.8～11の支払い種別



## 3) 停留所の利用状況(H30.4.1～H30.10.31)

停留所名 (利用の多い順に30位まで抽出)	種別	利用 可能日	乗降者数	運行日 当たり 乗降者
1位 高良北(ザ・ビッグ、コメリ)	商店	A,B	1007人	6.0人
2位 プラザ善導寺	商店	A	881人	10.5人
3位 コスモすまいる北野	公共施設	A,B	619人	3.7人
4位 神代病院	病院	A	430人	5.1人
5位 Aコープ大刀洗店	商店	A	422人	5.0人
6位 金島駅前	駅	A	317人	3.8人
7位 灰塚橋(柳原団地)	居住地	B	290人	3.4人
8位 蒲池医院	病院	A,B	274人	1.6人
9位 大城ますかげセンター	公共施設	A,B	269人	1.6人
10位 古賀茶屋駅	駅	B	269人	3.2人
11位 北野生涯学習センター	公共施設	B	261人	3.1人
12位 北野老人いきいの家	公共施設	A	240人	2.9人
13位 船端集落センター	居住地	A	214人	2.5人
14位 弓削コスモス館	公共施設	B	199人	2.3人
15位 高良2区東	居住地	B	198人	2.3人
16位 高良南(コスモス、モリ)	商店	A,B	265人	1.6人
17位 安永公民館前	居住地	A	194人	2.3人
18位 田中まさはるクリニック	病院	A,B	187人	1.1人
19位 JAみい経済センター大城店	金融・居住	A	174人	2.1人
20位 土居集落センター	居住地	A	156人	1.9人
21位 鎮西歩道橋	居住地	A	141人	1.7人
22位 西石崎	居住地	B	132人	1.6人
23位 ぜんどうじ整形外科	病院	A	132人	1.6人
24位 ぽっかぽかの湯	娯楽	A	130人	1.5人
25位 大城駅	駅	A	129人	1.5人
26位 きつき歯科医院	病院	A	127人	1.5人
27位 鳥居前広場西	居住地	A	125人	1.5人
28位 八重亀住宅入口	居住地	A	122人	1.5人
29位 高良2区公民館	居住地	B	122人	1.4人
30位 十郎丸公民館	居住地	B	119人	1.4人

※利用可能日：A⇒A日程、B⇒B日程

※H30.4.1 から H30.10.31 までに利用回数「0回」のバス停 8停留所(9%)  
「0～9回」 25停留所(28%)

## 2. 城島地域よりみちバス（インガット号）の利用状況について

○運行開始日:平成28年 3月 1日  
 ○H30.11.30 までの運行日数: 798日

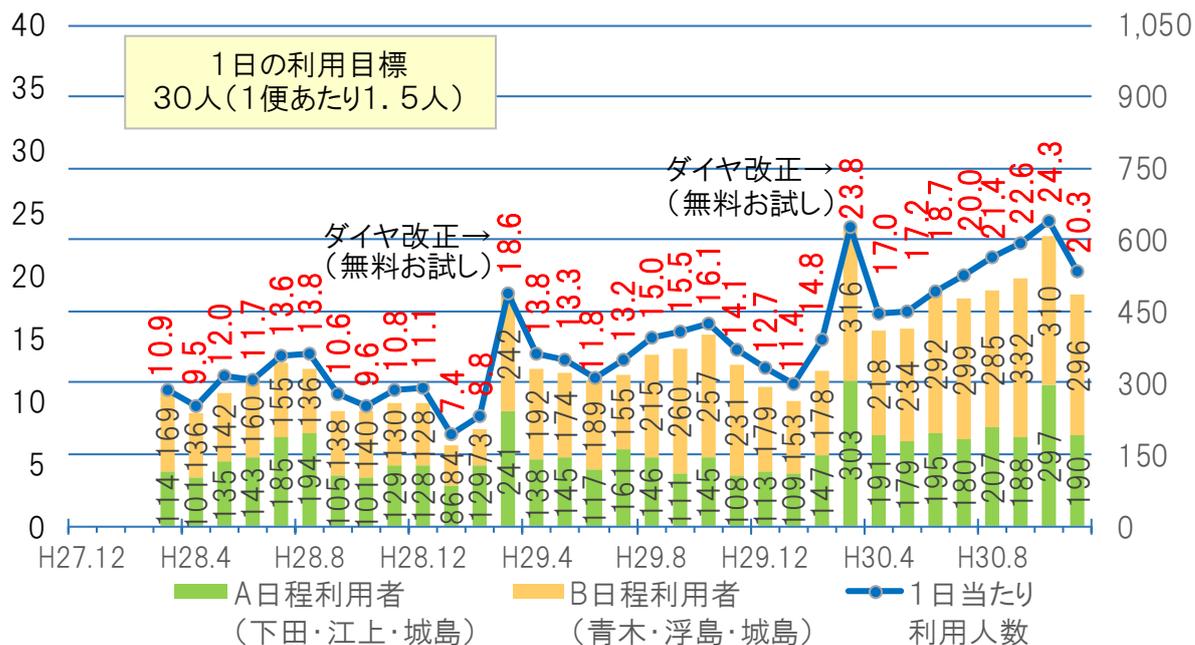


城島地域よりみちバス運行位置

### ■ 利用状況

#### 1) 利用者数

月利用者数(人) 平成30年11月30日までの集計結果を記載 1日当たり利用者数(人)



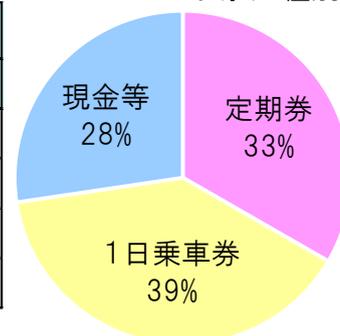
#### 年度別利用状況(運行開始～H30.11.30)

年度	A日程利用者 (下田・江上・城島)	B日程利用者 (青木・浮島・城島)	合計 利用者数	運行 日数	1日あたり 利用者数
H27	114人	169人	283人	26日	10.9人
H28	1,677人	1,664人	3,341人	290日	11.5人
H29	1,743人	2,499人	4,242人	289日	14.7人
H30	1,627人	2,266人	3,893人	193日	20.2人
計	5,161人	6,598人	11,759人	798日	14.7人

## 2) 支払い種別

H30.8～11の支払い種別

	平成30年度			平成29年度	
	定期券	1日乗車券	現金等	1日乗車券	現金等
8月	32%	38%	30%	73%	27%
9月	39%	34%	27%	75%	25%
10月	28%	52%	20%	69%	31%
11月	36%	31%	33%	63%	37%



## 3) 停留所の利用状況(H30.4.1～H30.10.31)

停留所名 (利用の多い順に30位まで抽出)		種別	利用 可能日	乗降者数	運行日 当たり 乗降者
1位	アスタラビスタ城島店	商店	A,B	1014人	6.0人
2位	萬年内科	病院	A,B	540人	3.2人
3位	安本病院	病院	A,B	536人	3.2人
4位	犬塚駅	駅	A,B	377人	2.2人
5位	中小路住宅	居住地	A	250人	3.1人
6位	江島納骨堂前	居住地	B	203人	2.3人
7位	城島総合支所	公共施設	A,B	196人	1.2人
8位	城島新町	居住地	A,B	194人	1.1人
9位	富田病院	病院	B	184人	2.1人
10位	ファミリーマート城島店(中町整骨院)	商店・病院	B	171人	1.9人
11位	江上校区コミュニティセンター	病院	A	158人	2.0人
12位	古町公民館	居住地	A	157人	1.9人
13位	小島	居住地	B	153人	1.7人
14位	【六町原公民館】要予約	居住地	B	147人	1.7人
15位	アスタラビスタ三根店	商店	A	132人	1.6人
16位	城島中町	居住地	A	113人	1.4人
17位	青木校入口	居住地	B	108人	1.2人
18位	ゆうゆう(三瀨総合福祉センター)	娯楽施設	A,B	100人	0.6人
19位	檜津	居住地	A,B	95人	0.6人
20位	上野病院/原口医院	病院	B	87人	1.0人
21位	平野	居住地	A	86人	1.1人
22位	青木校区コミュニティセンター	公共施設	B	81人	0.9人
23位	内野南集落センター	居住地	A	80人	1.0人
24位	城島げんきかん	公共施設	A,B	79人	0.5人
25位	青木団地	居住地	A,B	76人	0.4人
26位	西ノ島	居住地	B	75人	0.9人
27位	JA城島中央	居住地	A,B	71人	0.4人
28位	あおき温泉	娯楽施設	A,B	69人	0.4人
29位	青木島	居住地	B	68人	0.8人
30位	内茂手団地	居住地	A	65人	0.8人

※利用可能日:A⇒A日程、B⇒B日程

※H30.4.1 から H30.10.31 までに利用回数「0回」のバス停 10停留所(11%)  
「0～9回」 26停留所(29%)

### 3. 利用促進に関する主な取り組み

#### 1) 北野地域

- 継続 新たに約190世帯の戸別訪問による乗り方説明、時刻表の配布
- 継続 敬老会、校区サロン活動等での乗り方説明、時刻表の配布
- 継続 地域イベント「金島秋祭り」でのよりみちバスの展示
- 新規 小学生と保護者対象の夏休み無料キャンペーンの実施（129名利用）
- 新規 地域情報誌「コスモス通信」に利用者や乗務員の声などを毎号掲載

#### 2) 城島地域

- 継続 新たに約110世帯の戸別訪問による乗り方説明、時刻表の配布
- 新規 敬老会、老人クラブ会合等での乗り方説明、時刻表の配布
- 新規 小学生と保護者対象の夏休み無料キャンペーンの実施（45名利用）
- 新規 よりみちバスを活用した城島散策ツアーの実施
- 新規 地域イベント「健康・食育フェスタ」でのよりみちバスの乗車体験

### 4. 定期券の利用状況

平成30年8月より1ヶ月定期券（1,000円）の販売を開始しており、それぞれの地域の利用状況等は次の通り。

#### 1) 北野地域

定期券販売期間	定期券販売枚数	定期券利用回数	全利用者に占める定期券利用者
8.1～11.30	163枚	2131回	67%

- 「コスモス号」全利用者のうち、約7割が定期券利用者となっている。
- 定期券1枚当たりの利用回数は13回（6.5往復分）となっている。

期 間	全利用者数			運賃収入		
	H30	H29	対前年	H30	H29	対前年
4.1～11.30	5778人	2827人	204%	570,360円	351,340円	162%

【内訳】 **定期券導入の前・後での比較**

7.31まで【導入前】	2605人	1388人	188%	265,920円	140,200円	190%
8.1から【導入後】	3173人	1439人	<b>221%</b>	304,440円	211,140円	<b>144%</b>

- 利用者の増加率は、特に定期券の導入以降、対前年221%となっており、顕著な増加を示している。
- 定期券導入後の増加率は対前年比144%と、導入前に比べ減少傾向にあるものの、運賃収入自体は前年を上回って推移している。

## 2) 城島地域

定期券販売期間	定期券販売枚数	定期券利用回数	全利用者に占める定期券利用者
8.1～11.30	62枚	702人	33%

- 「インガット号」全利用者のうち、定期券利用者の割合は約3割となっており、これまでの「1日乗車券」利用者の約半数が定期券に移行している。
- 定期券1枚当たりの利用回数は11回（5.5往復分）となっている。

期 間	全利用者数			運賃収入		
	H30	H29	対前年	H30	H29	対前年
4.1～11.30	3893人	2744人	142%	494,470円	398,350円	125%

### 【内訳】 ↓ 定期券導入の前・後での比較

7.31まで【導入前】	1788人	1271人	141%	243,850円	189,600円	129%
8.1から【導入後】	2105人	1473人	<b>143%</b>	250,620円	208,750円	<b>120%</b>

- 利用者の増加率は、対前年比で140%を超えているが、定期券導入前後での増加は2%と微増している。
- 定期券導入後の増加率は対前年比120%と、導入前に比べ減少傾向にあるものの、運賃収入自体は前年を上回って推移している。

## 3) 定期券に関する意見

- 利用者：定期券購入前は、1回の乗車で、全ての用事を済ませるようしていたが、購入後は、買い物で荷物が多いときなどは2回に分けて出かけるようになった。
- 未利用者：便利でお得だとは思いますが、購入後に券を忘れたり、紛失する可能性を考えると買い控えてしまう。

## 5. 目標達成状況（定量的な目標と達成状況）

よりみちバス運行に係る国庫補助申請に必要な事業計画に記載している定量的な数値目標（平成30年度：バス会計年度H29.10.1～H30.9.30）とその達成状況は次の通り。

### 1) 北野地域

#### (1) 定量的な数値目標

目標1) よりみちバス1便あたりの利用者数1.5人（循環系統は3.0人）  
⇒ 利用者数35人/日

※最低でも乗りあった（1便1人以上）状態での運行を目標とし、1日の運行便数を考慮し目標値を設定。

目標2) 路線バス北野線での1日乗車券の利用者数 7人/日

※1日乗車券は北野地域内でよりみちバス、路線バスで利用可能。目標の7人は北野線の北野地域での1日の域内乗降者数。

目標3) 北野地域の公共交通機関の現状に対する満足度 3.32ポイント超

※市民意識調査結果「満足（6ポイント）～不満（0ポイント）としたアンケート結果」の平均値。3.32ポイントは28年度調査結果。

#### (2) 達成状況

目 標	目 標 値	H28.10.1～	H29.10.1～	H30 年度詳細	
		H29.9.30	H30.9.30	H29.10.1～	H30.4.1～
		H29 年度 (バス会計年度)	H30 年度 (バス会計年度)	H30 ダイヤ 改正前	H30 ダイヤ 改正後
目標1 (達成率)	35人/日	13.8人/日 (39.4%)	22.0人/日 (62.9%)	15.7人/日 (44.9%)	28.3人/日 (80.9%)
目標2	7人/日	数人/月	数人/月		
目標3	3.32ポイント超	3.11	2.65(暫定)		

#### 【参考：事業計画変更後の北野地域よりみちバスの利用目標案】

- ・大城便 (月・水・金) 往復4便, 循環4便 →利用目標18.0人/日
  - ・金島便 (月・水・金) 往復12便 →利用目標18.0人/日
  - ・北野便 (火・木・土) 循環6便 →利用目標18.0人/日
  - ・弓削便 (火・木・土) 往復12便 →利用目標18.0人/日
- ⇒ 1日あたりの利用目標者数は平均36.0人  
※引き続き 1日35人を目標

## 2) 城島地域

### (1) 定量的な数値目標

目標1) よりみちバス1便あたりの利用者数1.5人(循環系統は3.0人)

⇒ 利用者数30人/日

※最低でも乗りあった(1便1人以上)状態での運行を目標とし、1日の運行便数を考慮し目標値を設定。

目標2) 路線バス大善寺線での1日乗車券の利用者数 10人/日

※1日乗車券は城島地域内でよりみちバス、路線バスで利用可能。目標の10人は大善寺線の城島地域での1日の域内乗降者数。

目標3) 城島地域の公共交通機関の現状に対する満足度 2.05ポイント超

※市民意識調査結果「満足(6ポイント)～不満(0ポイント)としたアンケート結果の平均値」。2.05ポイントは28年度調査結果。

### (2) 達成状況

目標	目標値	H28.10.1～	H29.10.1～	H30年度詳細	
		H29.9.30	H30.9.30	H29.10.1～	H30.3.1～
		H29年度 (バス会計年度)	H30年度 (バス会計年度)	H30ダイヤ 改正前	H30ダイヤ 改正後
目標1 (達成率)	30人/日	14.8人/日 (49.3%)	17.6人/日 (58.7%)	13.8人/日 (46.0%)	20.1人/日 (67.0%)
目標2	10人/日	数人/月	数人/月		
目標3	2.05ポイント超	1.78	1.66(暫定)		

#### 【参考：事業計画変更後の城島地域よりみちバスの利用目標案】

- ・ A日程 (月・水・土) 往復16便 → 利用目標24.0人/日
  - ・ B日程 (月・水・土) 往復18便 → 利用目標26.0人/日
- ⇒ 1日あたりの利用目標者数は平均25.5人/日  
 ※引き続き 1日30人を目標

報告第4号

平成30年度事業（主要バス停の環境改善、  
公共交通マップの更新）の取り組み状況について

平成30年度事業（主要バス停の環境改善、公共交通マップの更新）の取り組み  
状況について、別紙のとおり報告する。

平成30年12月14日提出

## 平成30年度事業（主要バス停の環境改善、公共交通マップの更新）の取り組み状況について

### 1. 主要バス停の環境改善

主要バス停の環境改善（バス停上屋、ベンチの設置）に国庫補助を活用するため、平成30年度久留米市生活交通確保維持改善計画（地域公共交通バリア解消促進等事業）を策定。

#### 【計画の概要】

##### ■ 久留米市生活交通確保維持改善計画（地域公共交通バリア解消促進等事業）

国庫補助である地域公共交通確保維持改善事業補助金のうち、地域公共交通バリア解消促進等事業に関して次に掲げる事項について記載したもの

- ①目的・必要性
- ②定量的な目標及び効果
- ③事業内容と当該事業を実施する事業者
- ④事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額
- ⑤計画期間

※平成30年度の補助金交付申請に使用するための事業計画として策定したもの

#### 1) 久留米市の方針（目的・必要性）

久留米市は、超高齢社会に転じ、誰もが安全に乗降でき、快適・円滑に移動できる公共交通機関の環境整備が求められている。こうした中、基幹公共交通となる路線バスについても、今後も高齢化の進展に伴い、バリアフリー化に向けた車両や待合環境などの機能向上の必要性がますます高まるものと考えている。

特にバス路線が集中する西鉄久留米駅～JR久留米駅間は、本市の中心市街地に位置し、利用者の多いバス停であることから、バス待ちの快適性を向上させるとともに都市景観の向上、高齢者等の移動支援を図るため、景観に配慮した上屋やベンチ等を設置し、バス停の待合環境の向上を推進する。

#### 2) 定量的な目標及び効果

##### ①事業の目標

久留米市都市交通マスタープランにおいて、主要な施設が集積する西鉄久留米駅からJR久留米駅間は、停留所の待合環境の向上を促進することとしており、利便性の高い停留所への改築を継続して実施する。

②事業の効果

多くのバス路線が停車し利用者も多い停留所の環境改善（機能性の高い上屋やベンチの整備）することにより、高齢者や障害者をはじめ、多くの路線バス利用者に対して利便性・快適性の改善が期待される。

3) 事業内容と当該事業を実施する事業者

○バス停上屋、ベンチの設置 1基 : 西日本鉄道(株)  
整備停留所(築島〔西鉄久留米方面〕)

4) 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

単年度の事業費用、負担者及び負担額(平成30年度)

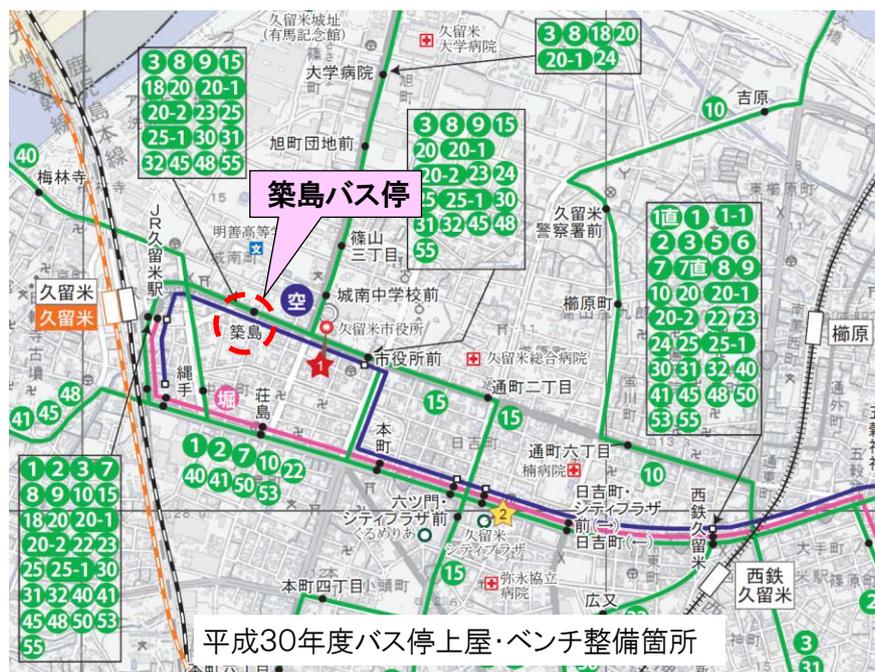
総事業費 割合	国費 割合	県負担 割合	市負担 割合	事業者負担 割合
5,517千円	1,839千円	0千円	1,839千円	1,839千円
100%	33.33%	0%	33.33%	33.34%

5) 計画期間

年次導入計画

	H30年度				H31年度				H32年度			
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
停留所 環境改善	●————● 8月1日 3月31日											

※平成31、32年度の整備についても継続する方向で協議中



## 2. 公共交通マップの更新

### 1) 規格

A4版冊子 24ページ

【表紙】



【背表紙】



【見開き】



### 2) 発行予定部数

18,000部

### 3) 主な更新・修正予定箇所

- 平成31年度のダイヤ改正内容を反映した情報の掲載
- タクシーに関する情報の新規掲載
- 背表紙のフォントサイズを変更 等

報告第5号

## 地域交通対策補助（コミュニティタクシー）について

地域交通対策補助（コミュニティタクシー）について、別紙のとおり報告する。

平成30年12月14日提出

## 地域交通対策補助（コミュニティタクシー）について

### ■報告事項

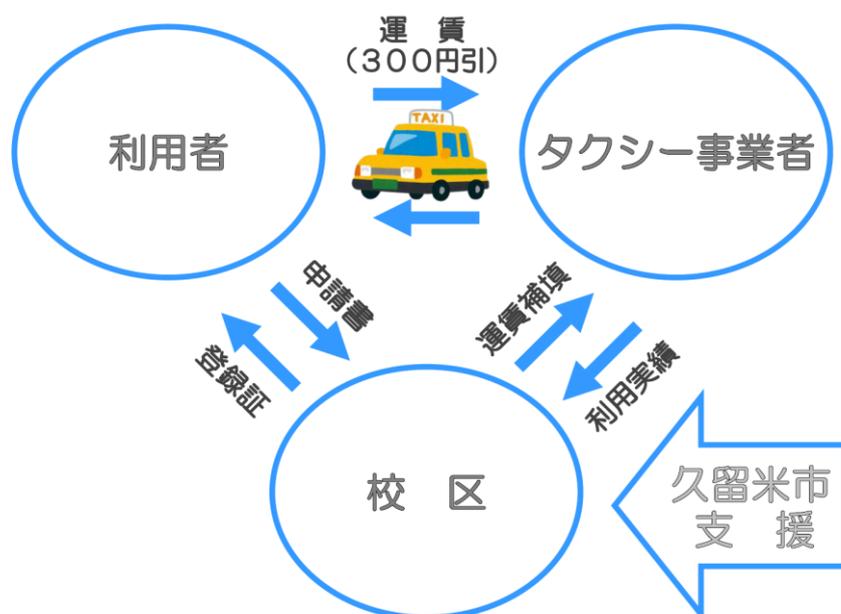
校区コミュニティ組織が実施するタクシーを活用した移動制約者の移動支援に対して、久留米市が経費の一部を補助する地域交通対策補助（コミュニティタクシー）制度について、制度概要（平成30年度見直し）を報告するもの

### 1. 目的

鉄道や路線バスを補完し、鉄道や路線バス等の利用が不便な地域において、移動制約者の日常の移動手段を確保すること

### 2. 制度概要

対象校区	○市内46校区のうち、よりみちバス実施校区を除く37校区
利用対象者 (要登録)	○鉄道駅やバス停から半径300m以上離れた所に居住する70歳以上の方 ○校区が支援を必要と判断する方
利用者への支援	○タクシー運賃から300円引きで利用可能(最大50回/年) ※登録者同士が相乗りし、かつタクシー運賃が1,000円以上の場合は600円引きで利用可能
校区への支援	○タクシー利用に対する補助(校区内の対象者数に応じ上限有) ○事業実施事務に対する補助
利用範囲	○公共交通利用不便地⇔もよりの鉄道駅、バス停、生活利便施設間 ○利用時間帯:午前8時半～午後6時(年中利用可)



制度の枠組み（イメージ図）